

2020年

261号

2月19日(水)

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部

〒343-0845

埼玉県越谷市南越谷2-13-49

(越労連内)

TEL・FAX 048-989-2472

E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp



吉田健治支部長のあいさつの後、地元平方の伊藤富子さんのあいさつで乾杯し、食事、懇談をしました。料理は地元組合員など6人が、豚汁、まぜご飯、サラダ、厚揚げの卵とじをつくってくれました。また参加者が提供してくれた手製の漬け物、サラダ、煮物などのお惣菜がテーブルをにぎやかにしてくれました。さら



年金者組合越谷支部は1月29日、12月の誕生会を兼ねた「新春の集い」を平方山自治会館で開きました。集いは年金者組合員36人と演奏をしてくれた「ハモニカの会」の会員8人、総勢44人が参加しました。

今年も元気にすごしましょう
新春の集い&誕生会
を開催

お花見&誕生会

〔日時〕 3月30日(月) 12時

〔場所〕 元荒川土手

〔会費〕 千円

☆ 尚、雨天の場合「大沢一丁目自治会館」詳細はチラシを参照してください



五十嵐 木暮 山本 足立 保坂 石山 宮下
杉浦 伊東 森
大久保 中尾 川原 栗原 森山

点 晴

安倍政権、75歳以上の医療費窓口負担、倍増狙う！

安倍政権が、医療費の窓口負担を倍増させる改悪案を、今年秋の臨時国会に提出する。日本の高齢者の医療費窓口負担は、1983年にそれまで10年間続けた無料の制度から数百円の定額負担に改められ、2000年には定率1割負担に、さらに2008年に後期高齢者医療制度を設けて以降、70歳は2割、75歳以上は1割(現役並み所得者は3割)となり、現在に至っています。

安倍首相は、施政方針演説で「全世代型社会保障改革」の名で75歳以上の医療費窓口負担の倍増(1→2割)などを打ち出しました。

75歳以上で年収370万円以上などの人は、すでに窓口3割負担です。それより年収が少ない人の窓口負担を1割から2割に増やすことを狙っています。国民の批判を抑える為「一定以上所得者」を2割負担にすると言っています。が、今後、段階的に負担増を進めていく「突破口」にするのは確実です。

窓口負担を引き上げれば、家計が苦しくて受診を我慢する「受診抑制」をさらに広げることになります。

受診抑制によって病気の早期発見・早期治療が妨げられ、重症化し、かえって医療費の増大を招くことは、日本医師会などがたびたび指摘しています。

受診抑制による手遅れ死亡の事例は数多く明らかになっています。

窓口負担増は、お金のあるなしにかかわらず全国民に必要な医療を保障する「国民皆保険」に反し、命をうばうことにもつながります。

国民の暮らしを支える責任が国にはあります。

窓口負担は軽減・無料化するなど社会保障の拡充こそが必要です。

そのさいには、低所得者ほど負担が重い消費税には頼らない財源確保が求められています。

(森)

次回の宣伝行動 3月18日(水) 12時~13時 南越谷南口